

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（高島地域）第3回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年11月1日（火） 14時00分～16時00分

場 所：高島合同庁舎2階 2-A会議室

出席者：饗庭 正昭 委員（公募委員）

今村 忠彦 委員（座長）（NPO法人SMSA持続可能管理協会びわこ 理事長）

小崎 富美子委員（高島交通安全協会 副会長）

福田 久司 委員（高島市商工会 会長）

藤田 幸典 委員（高島警察署 交通課長）

（代理出席：高島警察署 巡査部長 藤田 伸也氏）

前川 為夫 委員（びわ湖高島観光協会 会長）

松本 美和子委員（介護保険認定審査委員 介護保険事業計画等策定委員会委員）

柳生 徹 委員（高島市 都市整備部部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・今村座長が挨拶を行った。

（2）第2回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第2回地域ワーキングの内容について説明を行った。

（3）資料説明「第3回地域ワーキング」

- ・事務局より第3回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

- ・今まで何回か会議を重ねて、我々の想いが集約されていると思う。
- ・上手くまとめてくれていると思う。地域の人の声はすごく大事だと思う。
- ・地域の声のとりまとめの中で、地域の課題とされていることは、道路が 161 号線しかないことが一番大きいので、書き込んでもらえればと思う。
- ・過去 2 回の会議内容から、想いを汲んでもらってありがたい。
- ・前文に「南は大阪地域」と限定されているが、南は京阪神や大阪・湖南地域などからという内容があると良いと思う。

① 地域の魅力や活力を高めるための道づくり（地域内の移動を円滑化する道路網整備）

- ・道路が整備されると地域が活性化する。高島に若い人が入ってくれるように、道をきれいにしてもらうことを望んでいる。
- ・交通事故の発生箇所は決まってくると思う。道路の線形に問題がある箇所があればどうにかしてほしいと思う。トラックが来ると、止まらないとすれ違えないような危ない箇所がまだまだある。拡幅できるのであれば拡幅してもらいたい。
- ・事故多発箇所については、土木事務所と連携・協力して解決していきたいと思う。
- ・白髭神社のカラー舗装で交通事故が減った。今はほとんど追い越しする車は見られない。カラー塗装によってブレーキを踏むので、事故が減った。事故が多い箇所では同じような方法がとれるのではないかな。
- ・他府県から来た人には抜け道などが分からないので、分かりやすい道路標識があると良いと思う。また、交通アクセスが良ければ、地域や町の活力も出てくると思う。アクセス性が改善されたら、他も連鎖的に解決していくのではないかな。
- ・カラー舗装については、高齢者には色がたくさん付いていると分からない場合もある。やりすぎるのもどうかと思う。
- ・地域の魅力を高めるために地域内だけではなく、高島地域を各方面に発信して、色々な人に来ていただくことが重要だと思う。中部方面から長浜に来られている人は多いが、長浜に来たついでに高島にも来てもらう、という考え方も目指すべきではないかな。長浜から先に来訪されない理由は、長浜から高島に行く道がないから。そのあたりの整備が本来の地域の活性化につながるのではないかな。

② 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

- ・平日でも最近では 161 号が混んでいる。行楽シーズンということもあると思うが、用地買収も難しくないので、できれば琵琶湖側にもう 1 本直線道路ができたらと思う。細々とした道よりも、思い切って 4 車線などの大きな幹線道路ができるとスムーズな流通ルートになるので、商売にも有利になる。
- ・災害時の広域連携に力を入れてほしい。この混雑状況がある中で、事故があったらと心配している。もしもの時にきちんとした道路網がある、確実に病院に連れて行ってもらえる

- と安心できる。高齢化社会に向けて期待している。
- ・いつどんな災害が起こるかわからない。身動きが取れなくなることも考えられる。迂回路などが早くわかっていると市民も安心できると思う。

③ 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

- ・湖周道路の県道で歩道が切れているところがある。近江白浜地区で中央にカーブしているところで歩道が切れている。かなり大きな交通事故も何件かある。長年の案件だと思うが、そういうところを残さないようにしてもらいたい。

④ 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

- ・道路整備は国・県・市がそれぞれが独自で整備するものではなく、お互いに協力して連携を持って進めていくものだと思うので、「協力関係を築きます」といった文言もあっても良いのではないかと思う。

【その他について】

- ・舗装の損傷は順次修繕されており、そんなに不満はない。
- ・文章では皆さんの委員の意見を集約していると思うが、個別路線の提示がされなかったのは残念に思う。
- ・この4～5年で人口構成も変わっているので、道の駅でアンケートを実施するなど、どんな人が来ているのかを踏まえ、道路のあり方を考えてもらえたらと思う。
- ・高度情報通信技術の活用は一番お金がかからない方法なので、交通安全や災害対策などにも盛り込んでもらえればと思う。